

震災を考える ～3.11を忘れない～

【震災を考える ～3.11を忘れない～】

東日本大震災で未曾有の被害を受けた東北地方。東京都でも体験したことのない激しい揺れがありました。その時、みなさんはどのように行動し、どのような声かけをして命を守りましたか。東日本大震災発災より12年が過ぎ、目の前の小学6年生は今、震災後に生まれています。風化させない。忘れない。私たちは何を語り継ぎ、どのような行動を起こしたらよいのでしょうか。

今年2023年は、関東大震災から100年が経った節目にあたる年でもあります。東日本大震災の際に、現地へのボランティア活動を行ってきた講師のお話を通して、大切な命を守るためにわたしたちは何ができるのか、未来に向けて何をなすべきかを考えます。「自助」「共助」そして「未来」について、学校・保護者・地域の方と一緒に考え、語り合う場にしたいと考えております。

【講演会・意見交換会（3階・東陽小学校体育館）】

○日時 10月15日（日）11:45～12:30

講演テーマ 「東日本大震災発災時のボランティア活動について」



講師 江戸川区立東葛西小学校 おやじの会 松沢 和也 氏

「自分の学校・地域を愛して卒業してもらいたい。」

その強い思いを軸に、学校の関わり続けている松沢氏。東日本大震災発災時には「自分たちは何ができるか。」を問い、その思いは地域の仲間たちに伝わり、南三陸への支援活動が始まります。その活動は現在も続いています。

ボランティア活動をとおして、今、松沢氏は何を願うのか。講演会・意見交換会をとおして、熱く語っていただきます。

※是非たくさんの方にご参加いただきたいです。各家庭何名で参加していただいてもかまいません。地域の方々のご参観もお待ちしています。

※第6学年（仲よし学級含む）は、3校時に体育館にて講演会講師の松沢和也氏が特別授業を行います。この内容は、講演とつながりますので、全ての学年の保護者が参加できます。

つながり、生きることについて一緒に考えてみませんか？



【問い合わせ先】江東区立東陽小学校
副校長 柴田 あゆみ
TEL 3644-0406